

6次産業化商品の開発支援

ねらい

「六次産業化研究施設」を活用した加工研修会の開催や、農業者のオープンラボ機能を活用した試作研究への支援など、6次産業化商品の開発を実践的に応援します。

6次産業化や農商工連携によるビジネスモデルを創出し、農業者の所得向上を図ります。

活動地域・対象

地域：県下全域

対象：六次産業化実践農業者及び志向農業者

普及活動の目標

商談会に参加できる商品開発 2品

目標に向けた活動概要

1 「六次産業化研究施設」を活用した商品開発支援

○食品加工研修会の開催

食品製造メーカーや菓子のコンサルタント、デザイナーを講師に研修会を開催し、農業者の加工技術の修得・向上を支援しました。

- ・グルテンフリーの米粉パン
- ・柚子を使ったお菓子
- ・0から始まるデザイン入門

○農業者が抱える課題解決支援

施設のオープンラボ機能を活用し、いちごドライフルーツ、乾燥野菜、野菜アイスクリーム、冷やし焼きいもなど、29件の試作品づくりを支援しました。

また、食品衛生法改正にともない、商品化に必要な、営業許可取得やHACCPの取組についての情報提供、加工機器を購入する際のアドバイスをを行いました。



2 販売促進・求評会参加支援

JAが開発している6次化商品の商品性を確認するため、バイヤーによる求評会参加を支援しました。求評会参加に向けて、「FCP展示会・商談会シート」を作成し、加工品の特徴や販売のターゲットを確認しました。

また、多様な事業者と連携できるよう、飲食事業者や観光事業者等が集う異業種交流会への参加を促しました。



リモートで開催された求評会

3 加工に取り組む生産者組織等の育成

加工グループやJA女性部の活動状況を農業支援センターとともに調査し、課題や支援方策を探りました。

普及活動の成果

1 JA里浦「里むすめ」を使った加工品開発

ブランド品目「里むすめ」のPRのため、「冷やし焼き芋」を商品化しました。



試作研究



FCPシート作成支援



求評会参加

2 JA板野郡の特産品を使った加工品の商品化支援と販売促進

にんじんやブロッコリーを使った加工品を開発し、求評会・交流会で情報収集を行いました。



にんじんスープ&野菜アイス



6次化プランナー派遣



異業種交流会参加

3 加工グループの現状と課題

多くの加工グループは、高齢化で技術が途絶えるのではないかと心配しているが、人を雇えるだけの売上や作業がなく、後継者が確保出来ていない状況。

また、改正食品衛生法への対応に不安を感じており、正確な情報が届いていない。一方、各種補助事業の紹介により、商品改良や販路開拓に意欲を見せるグループもある。

加工活動の維持あるいは発展のためには、食品に関する情報提供を適切に届けることが必要で、情報を届けることが各グループ員のやる気を起こすことにつながっていく。



若手普及指導員との調査活動

今後の発展方向

農業者の所得向上と本県農産物のブランドカアップを図るため、魅力的な商品開発、更には、販売促進を支援します。

関係者からの声

- ・加工品に対する評価を受けて、参考になった。今後も異業種と交流したい（求評会参加JA）。
- ・補助事業の紹介をしてもらい、商品開発や販売ツールの確保にやる気が起きた（加工グループ）。
- ・後押ししていただくことで思いが前に進み、ありがたい（6次化志向農業者）。

高度技術支援課

徳島県名西郡石井町石井字石井1660

tel : 088-674-1922